

設計不良、製造不良を未然に防止する

トラブル再発完全防止の方法

本講座は実際にトラブルが発生した場合や、FMEAでトラブルを抽出した場合の完全対策法を指導します。昨今、リコールの新聞記事が毎日のように掲載され、日本製品の品質低下が収まりません。トラブルの再発防止策は、単なるツールや学問だけでは限度があり、技術の職人が代々伝授してきた「匠のワザ」が必要なのです。本講座では、この「匠のワザ」を一挙に公開習得し、若き技術者の負担を低減、トラブルの再発に歯止めをかけることをめざします。

開催日

2024年 1月25日 (木) 10:00 ~ 17:00 (Zoom入室開始 9:45~)

開催形式

オンライン (Zoom予定) ※1人1台のパソコン等でご参加をおすすめします。

講座内容 (予定)

1. 匠のワザ (1) : トラブルの98%がトラブル三兄弟に潜在

- 1-1 トラブル三兄弟 (1) : 「新規技術」がトラブルの原因
- 1-2 トラブル三兄弟 (2) : 「トレードオフ」がトラブルの原因
- 1-3 トラブル三兄弟 (3) : 「××変更」がトラブルの原因
- 1-4 盛りだくさんな事例を紹介

変化点ではありません！「変化点」はファッション用語です。したがって、「変化点」探求ではトラブルは撲滅しません。

2. 匠のワザ (2) : インタラクションギャップを見逃すな

- 2-1 4Mで分析するインタラクションギャップ
- 2-2 事例 : Man に関する事故 (関西の電車脱線事故)
- 2-3 事例 : Machine に関する事故 (シュレッターで指切断)
- 2-4 事例 : Material に関する事故 (トラックタイヤ脱輪事故)
- 2-5 事例 : Method に関する事故 (原子力発電所の臨界事故)

3. 匠のワザ (3) : これで収束！トラブル完全対策法

- 3-1 これがトラブル完全対策法だ！
- 3-2 事例 : コネクタの誤挿入トラブルを対策
- 3-3 事例 : F F 式石油温風機事故に関するトラブル対策
- 3-4 事例 : 洗濯機と電子レンジにみる対策

4. 匠のワザ (4) : 再発を認識したレベルダウン法

- 4-1 トラブルの再発を知って採用するレベルダウン法
- 4-2 トラブル対策に関するノウハウの構築

5. 匠のワザ (5) : 現象でなく原因に打つ根本対策法

- 5-1 妙薬は現象でなく原因に打て！
- 5-2 シュレッターの指切断事故を考察

6. 匠のワザ (6) : 落とし処はどこ？なに？

- 6-1 六本木回転ドア事故を考察
- 6-2 ビデオ鑑賞で全復習

メインテキストとして【ついてきなあ！失われた『匠のワザ』で設計トラブルを撲滅する！】(日刊工業新聞社)を使用します。※本書は参加費に含まれています。



講師

國井 良昌 先生

國井技術士設計事務所 所長
技術士 (機械部門 : 機械設計/設計工学)

【略歴】

横浜国立大学・工学部・機械工学科卒。日立、及び、富士ゼロックスの高速レーザープリンタの設計に従事。富士ゼロックスでは、設計プロセス改革や設計審査長も務めた。1999年より、國井技術士設計事務所として、設計コンサルタント、セミナー講師、大学非常勤講師として活躍中。

- ・公益社団法人 日本技術士会・機械部会
- ・公益社団法人 日本技術士会・埼玉県技術士会
- ・横浜国立大学 大学院工学研究院 非常勤講師
- ・(旧称) 首都大学東京 大学院理工学研究科 非常勤講師
- ・山梨大学工学部 非常勤講師
- ・山梨県工業技術センター 客員研究員
- ・高度職業能力開発促進センター運営協議会 専門部会委員

【著書】

- 「ついてきなあ！」シリーズ (日刊工業新聞社)
- ・「ついてきなあ！加工知識と設計見積り力で『即戦力』」
- ・「ついてきなあ！設計心得の見える化『養成ギブス』」
- ・「ついてきなあ！品質とコストを両立させる『超低コスト化設計法』」
- ・「ついてきなあ！悪い『設計変更』と良い『設計変更』」
- ・「ねじとばねから学ぶ！設計者のための機械要素」 他多数
- 「ライバルを打ち負かす設計指南書 攻めの設計戦略」(日経BP社)

対象者

- ・機械、電気・電子、情報などの開発、設計、生産技術、品質管理関連などの全ての技術者
- ・技術教育担当者

定員

50名 (先着順)

島根県内に事業所等を有する企業であること

受講料

3,000円 (税込) /人

※お支払い方法は、講座終了後にお申込み連絡者様宛にお知らせいたします。

受講時ご準備いただくもの

筆記用具、蛍光ペン

※テキスト類は事前に送付いたします。

※受講決定後にキャンセルされる場合は、受講料を請求させていただき、講座で使用するテキスト類を送付いたします。予めご了承ください。

申込方法



◀ 申込みフォームはこちらから (<https://www.joho-shimane.or.jp/purpose/human/9613>)

※裏面の申込書に必要事項を記載の上、Eメール又はFAXでもお申込みいただけます。

※受講の決定については、申込み締切り後の2営業日以内に申込み連絡者様及び受講者様にメールにてご連絡いたします。

※申込みの際は、裏面もしくは申込みフォームに記載の【注記】を必ずご確認ください。

申込締切 : 2024年1月12日 (金) 17:00

【主催】(公財)しまね産業振興財団
【協力機関】島根県産業技術センター

E-mail : ihrd@joho-shimane.or.jp FAX : 0852-60-5116

「トラブル再発完全防止の方法」申込書 ※印は必須項目です。

ご受講の可否については、申込締切(1/12)後の2営業日以内にメールにてご連絡をいたします。

※講座開催日の3日前までにご連絡が届かない場合には、お手数ですが担当：布野・新宮(0852-60-5117)までご連絡ください。

※以下の【注記】を確認の上、申込みます。

※企業名			
※所在地	〒		
※連絡者	所属		※TEL
	※氏名		FAX
	※E-mail		
参加者①	ふりがな氏名		※担当する業務内容 (該当する内容に○をしてください) 設計・開発・製造・品質 購買・その他()
	E-mail		
参加者②	ふりがな氏名		※担当する業務内容 (該当する内容に○をしてください) 設計・開発・製造・品質 購買・その他()
	E-mail		
参加者③	ふりがな氏名		※担当する業務内容 (該当する内容に○をしてください) 設計・開発・製造・品質 購買・その他()
	E-mail		
ご希望の講座テーマがございましたらご記入ください。 (今後のテーマ選定の参考にさせていただきます。)			

【注記】

- ※ 今回のご受講には、PC・スピーカー・インターネット回線等、インターネット動画視聴のための環境が必要です。
- ※ 視聴に関するPC等のトラブルは当財団では保証しかねますので、自己責任のもとご使用ください。
- ※ 本講座では、広報および報告に使用する写真を撮影させていただきます。
- ※ 皆様のご意見を今後の講座運営やカリキュラム作成の参考とさせていただきますので、講座終了後はアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。
- ※ 本講座は、国の補助金を使用している為、年度内に採用調査を実施いたしますのでご協力をお願いいたします。
- ※ 定員を大幅に超えた場合には、参加人数の調整を行う可能性がございますので、その際はご了承ください。
- ※ 本講座受講にあたり開示いただいた個人情報、講座実施に係る運用・管理及び受講後のアンケートや当財団からのアンケート調査や事業紹介など当財団の活動の範囲以外で使用することはありません。
- ◆ 本講座は雇用調整助成金等の助成金の対象となる場合がございます。詳細は最寄りのハローワーク等にご確認ください。

【お問合せ先】

主 催 申し込み等に関すること
公益財団法人しまね産業振興財団
 創業・人材支援室(担当：布野・新宮)
 〒690-0816 島根県松江市北陵町1番地
 TEL : 0852-60-5117 / E-mail : ihrd@joho-shimane.or.jp

協力機関 講座の内容に関すること
島根県産業技術センター
 機械技術科(担当：福田・白石)
 TEL : 0852-60-5140 (代表)